

密機械工，研磨工，微量分析工の如きは，研究上不可欠であり，その養成に長年月を要し，しかも余人をもつてかえ難いものである。しかるにこれ等特殊技術者は，その待遇が悪いためその職を棄てることが多く，わが国科学研究の一つの隘路をなしている。

政府において，この点に留意し，特殊技術者の待遇改善につとめ，特に職階制を実施するに当つては，十分注意するよう希望する。

1-44

総発第24号 昭和25年1月23日

内閣総理大臣 吉田 茂 殿

日本学術会議会長 亀山直人

湯川博士のノーベル賞受賞記念事業について(申入)

日本学術会議は，1月21日開催の第5回総会において，右の件について左記のことを決議いたしましたから，これが実現について，よろしくお取り計らい下さるよう，希望いたします。

記

湯川秀樹会員のノーベル賞受賞を記念して，理論物理学の研究を一層盛んにならしめるため，国家的事業の実施を希望する。

右決議する。

1-45

総発第34号 昭和25年1月28日

内閣総理大臣

通商産業大臣

経済安定本部総務長官

宛(各通)

日本学術会議会長 亀山直人

学術研究に供せらる電力について(申入)

客年12月13日電気需給調整規則が改正せられた結果，学術の研究に供せらる，電力の料金は，著しく高額となり，研究上支障をきたすので，研究機関については，少くとも同規則中第1種需要の中に指定されるようお取計らい願いたい。

(写 文部大臣)

1-46

総発第25号 昭和25年2月1日

各官公私立大学長

各都道府県教育庁教育長

” 教育委員会委員長

山形 東京 愛知 岐阜 三重 京都 奈良 大阪 } あて

和歌山 兵庫 広島 愛媛 高知 島根 山口